

いきいき案内所ニュース

第49号

H30. 10. 30発行



社会福祉法人香川県社会福祉協議会
発 地域福祉課
高齢者いきいき案内所
行 〒760-0017 高松市番町 1-10-35
TEL087-861-0546
http://www.kagawaken-shakyo.or.jp

マルナカ パワーシティ屋島店の3階のカラオケスペースの一角に、55歳以上の方を対象に体操教室、趣味の教室、ハーモニカ演奏や落語などを楽しめる健康と生きがいづくりの場「会員制スペース紡（つむぎ）※」がオープンしています。いきいき案内所の個人登録者や登録団体を講師として紹介するなど活躍の場が広がっています。※年会費1,000円（税別）、教室1回200円（税別）対象者：GGカード・ゆうゆうカード所有者 別紙資料参照

どんぐり塾 出前寄席

平成30年5月17日（木）



「どんぐり塾」は、さぬき市を中心に活躍中の朗読グループ“どんぐり”のメンバーを中心に結成された落語の披露を行う団体です。その会員から演目「まわり猫」ほか紙芝居などが披露され、会場は笑いの渦に包まれました。参加の皆様は、約1時間の間、笑っぱなしで、健康維持の秘訣である笑いを、わずかな時間で十分実行されていました。また笑いによって、お隣の席の方とも会話が弾みます。

家にこもりがちなお客様にお出かけするきっかけをつくりたいという企業の思いを形にした地域貢献の1つです。スペースには、体組成計や血圧計も設置されており、いつでも健康チェックをすることができます。ミニカルチャースクール参加の感覚と、新しい地域交流づくりに活用してみませんか。

専用端末にカードをかざし、事前登録された家族に「見守りメール」を配信することも可能！

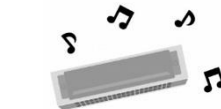


ハーモニカ演奏 多田 栄爾さん

平成30年10月4日（木）



演奏だけではなく、ハーモニカと一緒に歌っていただく活動をしている多田栄爾さんが月1回ボランティア講師として活動しています。当日は、20名程度が、ハーモニカを伴奏に1時間たっぷり童謡や、さまざまな時代の歌謡曲を熱唱していました。締めは、多田さんの丁寧な解説付きの詩吟講座があり、一緒に吟詠し、大満足の表情で皆様お帰りになりました。



将棋相手募集中

高松市内の高齢者施設に入所・入居されている方の将棋のお相手をしていただける方を募集しています。

また、お知り合いで将棋のお相手ができる方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内いただき、詳細については、直接下記事務局にご連絡をお願いいたします。



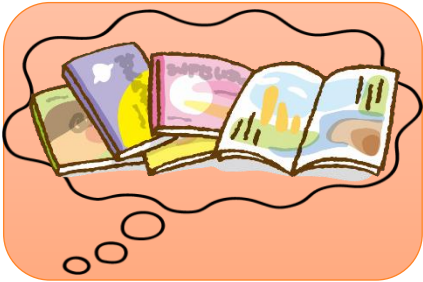
高齢者いきいき案内所
平池まで♪
☎087-861-0546

平成30年度読み聞かせボランティア養成講座 課外授業 異世代交流を通して 一高松工芸高校一

平成30年10月4日（木）8:50~9:40 会場：高松工芸高校 対象：高松工芸高校電気科3年生38名（男子37名 女子1名）

事前打ち合わせ 絵本選定 9月13日（木）

ご協力いただいたH30年度読み聞かせボランティア養成講座修了生の皆様
大山 照子さん、片山 あけみさん、黒木 千里さん、田岡 裕美子さん、
中條 珠代さん、中川 知子さん、中山 百合子さん、松本 安子さん、山際 みゆきさん



平成30年度読み聞かせボランティア養成講座修了生の希望者で、事前打ち合わせと練習会を経て、高松工芸高校で読み聞かせ交流を行いました。高校生への読み聞かせで、毎年悩まされるのは、絵本選びです。大人意識を持ち始めた青年期真っ只中で、様々な思いを抱えている生徒に、どのような絵本が良いか、悩み多き世代の心をほぐせるような絵本はないかな…と相手のことを思い、選んだ絵本を持ち寄り、話し合い、決定しました。

練習会 参加者同士で読み聞かせ 9月27日（木）

当日は、年の離れた先輩を前に終始にこやかで、読み聞かせを楽しんでいたようです。普段交流のない関係だから、本音を話せたり、級友も知らない小さい頃に抱いた夢を話す機会にもなりました。また、本離れの世代ですが、さまざまな絵本から本への関心を少し持つことができたようです。



交流会 読み聞かせと歓談 絵本の世界と大先輩からの質問に答える和やかな時間 10月4日（木）



平成30年度傾聴ボランティア養成講座（後期：満濃荘）第3日目施設交流ご報告

9月18日（火）13：30～15：30 特別養護老人ホーム満濃荘、グループホームよりあい
 9月25日（火）13：30～15：30 特別養護老人ホーム満濃荘、特別養護老人ホーム仲南荘



平成30年9月18日（火）施設交流
 特別養護老人ホーム満濃荘（右上）
 グループホームよりあい（左）

1日目が台風接近のため、中止となり、2日目に3時間に濃縮された講義を受けての施設交流でした。施設交流の際には、笑顔・あいづち・うなずきを忘れず、講師の青井氏から「交流後は自分を責めず、精一杯やっている自分を認める」、山本氏から「1度の傾聴活動の中で2回笑顔が見えたらよしとする」と、励ましの言葉をいただきました。第3日目に、各施設で施設利用者様とのお話を1時間程度楽しみました。

交流後は、施設職員の方々と交えて、受講者から傾聴を通じた施設交流の感想や、施設側から、受講生の受け入れは職員が刺激を受ける機会になったり、お褒めの言葉が励みになったりして、職員の人材育成につながっているという感想をいただきました。また、修了後の活動として、施設で募集中のボランティア活動の紹介などがありました。傾聴ボランティア養成講座を1つのきっかけに、自分のできる活動を見つけていただきたいと思います。

～ 受講者からのご感想 ～

- ・短い時間であったが、内容が充実していた。
- ・高齢者には高齢者の人生や考えがあり、尊重したいと思いました。
- ・お話をさせていただいた方に、一瞬でも幸せを感じていただければいい。一生懸命お話を伺いたいと思いました。
- ・なかなか会話の続かない方が、ある話題から自身の幼い頃の記憶がよみがえった様子を見せたので、少しは役に立てるかなと思いました。
- ・人と話をすることは、大切ということを実感しました。
- ・訪問先の施設の職員の方々から気持ちの良い挨拶で迎えられ、対応の良さに感謝し、入所者の方から職員の方への感謝を聞かせてもらい、とても勉強になりました。



平成30年9月25日（火）施設交流特別養護老人ホーム満濃荘

修了生の活動先

- 【H30傾聴ボランティア交流施設】・なかの町デイサービス・なでしこ香川・大寿苑
 ・紅山荘・仙遊荘・ゆんたく・アゼリア今津
 【いきいき案内所 活動の場】・社会福祉法人瑞祥会 ショートステイ小夏

高齢者いきいき案内所人材バンク登録者交流会『きらりんぐ』開催報告

平成30年10月15日（金）10：00～12：00 香川県社会福祉総合センター3階健康プレイルーム 参加者：男性4名 女性8名
 講師のご都合で、急遽下記のとおり、内容変更を行い、開催しました。

- 10：00 頭と体を同時に使うイスに座って
 ゲーム要素を取り入れた体操
 香川県社会福祉協議会 専門員 竹田 有希
 10：40 なつかしい歌と手遊び
 香川県社会福祉協議会 専門員 乃万 由佳
 11：00 「コミュニケーションについて
 一緒に考えませんか？」
 かがわ総合リハビリテーション福祉センター
 地域交流課 篠原 智代 氏

げんこつ山の
 たぬきさんなど
 の手遊び、あや
 取りの披露も！



急なお誘いや、内容変更にもかかわらず、ご参加いただき、ありがとうございました。
 また、かがわ総合リハビリテーション福祉センターのご協力により、コミュニケーションツールの1つの透明文字盤を知る機会が持て、感謝申し上げます。



文字盤の使用
 でコミュニケ
 ーションを取
 るむずかしさ
 と伝わる喜び
 を知りました。

編集後記

秋台風という言葉があるように、次から次へと台風が押し寄せ、日本列島に大きな爪痕を残しています。常に最新の情報を得るようにして、早め早めの対策を心がけるようにしましょう。

11月の交流会は、薬についての勉強会を行います。年齢を重ねるとともに、薬とおつきあひも長くなる中、自己流の飲み方や活用の仕方をしていませんか。健康に過ごすためにも、薬との正しい“つきあい方”は大切です。この機会に薬の飲み方、使い方のおさらいと、薬に関する新しい知識を学びませんか。

平池

**高齢者いきいき案内所
 人材バンク登録者交流会『きらりんぐ』**

**参加無料
 定員15名**

日時 平成30年11月15日（木）10：00～12：00
場所 香川県社会福祉総合センター3階 ボランティア交流室
内容 「薬についてのおさらい会」
 ・正しいですか？その薬の飲み方
 ・知って得する薬をとりまく情報
 ・質問タイム
講師 株式会社 ケイラインファーマシー
 丸山 洋平 氏
対象者 高齢者いきいき案内所人材バンク登録者及び団体
 電話及びFAXでお申し込みをお願いいたします。
定員 15名
持参物 水分補給用のお茶等

お問合せ先 香川県社会福祉協議会
 地域福祉課 平池・石田
 ☎ 087（861）0546・FAX087（861）2664